

～～第7512回～～

支部長研修会

山伏～小河内山

～H26.10.18-19～

支部長研修会は登山教室のリーダークラスの午後の事例研修の部に参加してから現地に向かう形態をとっていて、昨年の茅が岳では幕営地で暗くて難渋した。今回は登山教室リーダークラスが中止になったので、静岡駅9時集合で途中で食材を調達して泊地の山伏小屋へ向かった。天気予報は両日晴れ。防寒具が必要になりそうな塩梅である。牛首からウォーミングアップを兼ねて歩き始めた。静岡市営山伏小屋は大分古くなってはいるが、まだ十分使える。トイレは撤去されている。水場が近いのがうれしい。我々8人以外に、単独行の静岡市内の登山者がいる。明日のコースは白峰南陵を最南端の山伏から時間の許す限り北上するコースで、国土地理院の地図には山名は載っていないが、3等三角点「水無峠」2075.5mは小河内山と呼ばれているあたりまでは行きたい。などと打ち合わせを兼ねて、明るいうちから懇親会が始まった。小屋には明かりも暖房もないので、早めに休む。夜中には満天の星だった。5時起床。簡単に食事を済ませ、富士山が待っている山伏へ。予想以上の好天で、絶景富士を独占。まだ雲は何も出ていない。青蘆山・策ヶ岳へと続く長大な稜線が横たわっている。夜露が笹を濡らしているので、カップのズボンをはいた。山伏峠に下る。山梨県側の看板近くに登り口はある。いきなり急登だが、すぐになだらかになる。踏み跡はしっかりしている。人の気配が消えている。ダケカンバの林やら紅葉などの見所もあり飽きない。所々で富士山の展望が利くところがある。鹿のフンはあるが、動物は見えない。ピークを越えると小河内山のⅠ峰、すぐに三角点のあるⅡ峰に着いた。山伏峠から2時間弱。ちょっと腹ごしらえして次のピークの水無峠山まで行くことにする。Ⅲ峰手前は笹原できれいな所だ。昼寝をしたら最高だろうが今日は少し風が冷たい。この先は急な下りになっていて、踏み跡が薄くなる。鞍部から先も井川側がなだらかになっていて、踏み跡が時々途切れる。ここで単独行の登山者とすれ違った。水無峠山は2080mの広い原生林の山頂で展望もないし、テープにマジックで山名が書いてあるだけの所だが、いい雰囲気だ。一同満足して引き返す。登り返しはあるが、下りは早い。山伏峠から小屋に水平に行けそうな道があったので、言ってみたが、大きなガレに阻まれた。山伏山頂には3人の若者がいた。昔の地図には山伏の標高は2013.7mとなっているが、最新のり地理院地図では2013.2mとなっている。 **葵 oh!**

参加者：8名

天候；晴れ

地図：梅ヶ島

コースタイム：山伏小屋 715～山伏 730-55～山伏峠 810～小河内岳 Ⅰ峰 940～Ⅱ峰 1000-20～Ⅲ峰 1030～水無峠山 1130-40～Ⅲ峰 1230～Ⅱ峰 1240～Ⅰ峰 1250～山伏峠 1400～山伏 1430～小屋 1450-1505～P1520



山伏山頂



小河内山



水無峠山山頂